

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 岡山県岡山市立南輝小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒702-8023
岡山市南区南輝3丁目6番9号

E-mail nankis@city-okayama.ed.jp

Website _____

児童生徒数 男子 283名 女子 266名 合計 549名
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

【3年生】

日時：平成27年11月下旬
場所：南輝小学校（3年生各教室）
参加対象者：児童（3年生）
人数：児童103名
内容：『地いきのみ力をみんなにつたえよう』をテーマに、地域や行事のグループに別れて調べた盆踊りやお祭りについて分かりやすくまとめて他のグループに発信する。



【5年生】

日時：平成27年10月中旬～平成28年1月下旬
場所：南輝小学校（5年生各教室），ひかり幼稚園，みどり町保育園
参加対象者：児童（5年生）
人数：児童92名
内容：『幼稚園・保育園と交流しよう』をテーマに、学区内の幼稚園・保育園と3回の交流活動を行なっている。クラス毎に各園を訪問し、考えた遊びで園児とふれあい、振り返りを次の活動に生かすように工夫を重ねることで実践力を高めていく。



2. 取組の成果

【3年生】

1学期に社会科での学区探検をし、その時に南輝学区は公園が多い・お店が多いなどの良いところをみつけてきた。そこで、地域の魅力・南輝学区の自慢できる場所とは何かという課題で子どもたちに考えさせたところ、公園やお店などが多いということや、人が優しいということ、各町内会で盆踊りやお祭りがあることなどのことを発表した。

今年は、その中から盆踊りやお祭りについて取り上げることにし、夏休みから個々で調べ学習をしてきた。2学期には、自分の住む町内会や盆踊り・秋祭りなどの行事のグループに別れて調べ学習を始めた。おうちの方や地域の方などにインタビューをしてきたり、夏休みに盆踊りに参加した児童はその時の様

子をグループの中で伝え合ったりしていた。秋祭りの前には地域の方をゲストティーチャーとして盆踊りやお祭りの歴史や目的、様子について話を聞く会を実施した。その後、実際に秋祭りに参加する児童もいた。そして、調べたことを各グループで模造紙にまとめ、発表会を行った。

盆踊りや秋祭りを調べていくうちに人と人との繋がりや、地域を大切にしようとする人々の気持ちを知り、自分たちの住む地域を大切にしようとする気持ちが増えた児童が増えてきたように感じられた。



ゲストティーチャーの話を聞く会



グループで調べたことの発表会

【5年生】

5年生は来年度、最高学年となり、1年生を迎えることを見通して、年長児との交流活動を行っている。10月に園児や園の様子を見学し、1回目のふれあい遊びを行った。初回から積極的に声をかけて交流できる児童と、なかなか自分からかかわれない児童とに2極化していた。11月の2回目の交流では、園児に喜んでもらえるように考えた遊びをもって園を訪問し、交流した。事前指導や慣れもあり、スキンシップや声かけができるようになってきた。3回目（1月）は2回目の反省点を改善し、さらに工夫を加えて訪問した。園児の方も楽しみに待っており歓迎してくれた。児童も見違えるほど積極的にかかわることができるようになった。

南輝学区には公立の園が少なく、私立の園が多いという特色がある。これまではひかり幼稚園のみと交流していたが、今年度から比較的入学児の多いみどり町保育園とも交流することにした。その結果、児童30名に対し園児が60名～80名となり、コーナーごとに適当な人数が配分された。園児の人数の少ないコーナーが減り、児童も達成感・満足感を得られていた。また、今回交流したことで、園児達の表情から1年生になることへの期待感が増し、不安感が多少なりとも減っているのではないかと思われる。

今年度、交流活動を2回から3回に増やした



ことで、児童が自ら考え、試行錯誤し、友達同士で相談したり協力し合ったりする場面が多くなったように思う。



3. 今後の課題（次年度への引継やより充実した内容にするために）

3年生は、今年度この単元を初めて行ったので、取組むのが遅かったため、地域の魅力として盆踊りと秋祭りに限定したが、1学期の社会科の学区探検から継続して取り組み、児童がみつけた様々な魅力について学習していければ、地域の人との繋がりや人とのふれあい、地域を大切に思う心などに多く気づき、よりよい学習になると思われる。そうすることで生涯における地域とのかわりもより豊かなものになり、持続可能な学習課題として自分と地域・人とのかわりについて捉えていけるようになると予想される。

南輝小学校では、上記の3年生のように、どの学年もより充実した内容にするために年間計画を見直し、新たな地域との関わりを模索している。年度末の見直しがよいのだが、時間的に都合がつかず、夏休みに行っているため今回のように活動に多少の支障をきたしている。年度初めの計画書との整合性がうまくいかないということもおきている。しかし、常に新しい取り組みへのチャレンジと見直しが必要だと考えている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

)